

緊急地震速報って何？

「緊急地震速報」は、震源地近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、震源の位置、規模、想定される揺れの強さを、地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒～数十秒前にテレビやラジオなどで素早くお知らせするものです。(震源地に近い地域では、「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。)

緊急地震速報の活用

「緊急地震速報」を見聞きした際に、適切な行動ができるよう、事前に訓練しておきましょう。

緊急地震速報



まもなく強い揺れがきます!



危険回避



緊急地震速報の利用心得

1 家庭では

頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる
あわてて外へ飛び出さない

2 エレベーターでは

最寄の階で停止させすぐに降りる

3 自動車運転中は

あわててブレーキをかけない
ハザードランプを点灯し、ゆっくり停止

4 室外(街)では

ブロック塀の倒壊等 zu 注意
看板や割れたガラスの落下に注意し、
ビルのそばから離れる

5 山やがけ付近では

落石やがけ崩れに注意

6 鉄道・バス乗車中は

つり革、手すりにしっかりつかまる

7 人が大勢いる施設では

係員の指示に従う
落ちついて行動
あわてて出口に走り出さない

災害時要援護者のために

災害時要援護者の方々を災害から守るために、地域で協力し合いながら支援していきましょう。

高齢者・寝たきりの方のために

- 緊急の時は、おぶって安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者で対応する。
- 不安を取り除くように声をかける。



車いすをご利用の方のために

- 階段では、2人以上の協力が必要で、上がりは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
- 介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する。



目の不自由な方のために

- 緊急の時には、声をかけ、情報を伝える。
- 誘導する場合には、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持つてもらい、半歩前をゆっくり歩く。



耳の不自由な方のために

- 話す時は、口の開け方をハッキリと、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

